



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 1 9 8 回
2024年4月12日
第 3 3 回 例 会

Create hope in the world

世界に希望を生み出そう

2023~2024年度 R | 会長
ゴードン R. マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2023~2024年度 人吉ロータリークラブテーマ
コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

来訪者紹介、会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告

優良職員表彰式

誕生祝い

能登半島地震キッチンカーボランティア報告

寄付カード

点 鐘

北 昌二郎 会長

歌 唱

ソングリーダー 吉沢雅人委員

国 歌 「君が代」
R S 「我等の生業」

司会・進行

プログラム 竹長一幸副委員長

来訪者紹介

北 昌二郎 会長

合資会社 緑屋本店 林田 里美 様

介護老人保健施設つつじの里 愛甲 俊 様

つばめタクシー株式会社 東 次義 様

会長の時間

会長 北 昌二郎

皆さん、こんにちは、本日のご出席誠にありがとうございます。先週の例会は“くまりば”に於きまして花見会を開催致しました。連日の雨ですでに葉桜となっていました。親睦委員会のお陰で楽しい例会を過ごすことが出来ました。台湾の訪問以来宴会は楽しむものと教えて頂いたような気がします。新堀委員長ありがとうございました。

先日7日(日曜)は、次年度地区研修協議会が開催

され、私も参加してまいりました。次年度岩井エレクトのもと多くの方に参加頂きましてありがとうございました。4月26日例会にて報告会を計画しておりますので、参加頂きました皆さま発表をよろしくお願い致します。

さて本日は職業奉仕委員会による優良職員表彰ということで会員企業の従業員さんにお越し頂いております。今週もまた葉山職業奉仕委員長のお世話になりますが、後ほどよろしくお願い致します。

また本日は、3月25日よりボランティア活動で石川県能都町に行って下さいました5名を代表頂いて、本田委員長、中川理事、葉山委員長に報告をお願いしてあります。よろしくお願い致します。

本日は職業奉仕事業でございます。事業と云えば、今は良くても悪くても、2年後3年後はどうなるかわからないのがビジネスであります。大胆にして常に細心の注意と最善の注意に心掛けることに経営の要諦があるような気がします。まだまだ先輩の経営哲学には及びませんが、わが社の経営理念不易流行を貫き本年度も事業に邁進いたします。

本年の人吉ロータリーのテーマは「コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そうです。

そこで復興川柳を一句

あの日から、当り前の日、日々感謝

被災をして初めて当たり前の生活のありがたさが分かり、日々の生活に感謝する気持ちを詠みました。

幹事報告

幹事代理 加登住 亮

《連絡事項》

- ・膳所ガバナーより台湾地震災害支援金の送金報告
- ・ロータリー日本事務局より環境月間リソース案内
- ・財団室ニュース4月号
- ・グローバル補助金奨学生李民樹さん3月レポート
- ・米山梅吉記念館より春季例祭ご案内と館報43号
- ・指宿RC週報
- ・例会休会・変更のお知らせ 熊本南RC、八代東RC
- ・NPO法人ロシナンテスより4月メールマガジン

- ・ 熊本県青少年育成県民会議ユースネットくまもと86号
- ・ 人吉医療センターより広報誌 翔

今後の例会予定

4月19日 職業奉仕外部卓話花まる学習会高濱正信氏
ロータリーの友紹介、結婚祝い
4月26日 新会員入会式、地区研修・協議会報告
5月3日 休会
5月10日 通常例会
5月17日 休会

出席率報告

吉野孝司委員

現 会 員 数	47名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	47名	本日の出席率 74.47% ZOOM(3) 会場(32)	
欠 席 者 数	12名		
出 席 者 数	35名		
免除会員出席数	0名		

【職業奉仕委員会】

2023～2024年度 優良職員表彰式

委員長 葉山稔洋

優良職員、被表彰者の4名の皆様、本日おめでとう
ございます。私は今年度職業奉仕委員会の委員長を
務めさせて頂いております。葉山稔洋と申します。
職業分類は葬祭業です。職業柄ご自宅に上がり込む
ことが多くあります。以前訪問したお宅で今日皆様
方にお渡しするこの優良職員の表彰状が目に入りま
した。そこには1985年理事長伊久美寛志と書いてあ
りました。いつから始まったのか定かではありませんが、40年にわたり、この事業が続いていることに
感銘いたしました。これからもこの受賞を誇りに
し、仕事にお励み頂ければ幸いです。

[被表彰者の紹介 表彰状・記念品贈呈]

合資会社 緑屋本店

林田 里美 様

推薦者 青木一幸会員

職 種 総務

勤続年数 28年1ヵ月

長年に亘り当社の総務グループ
の柱として、社内各種業務の支援や経理総務業務に
注力してくれた。



合資会社 緑屋本店

大槻 正喜 様

推薦者 青木一幸会員

職 種 営業

勤続年数 28年9ヵ月

顧客の親愛感厚く、当社の業績のみならず信用の向
上確立に多大な貢献をした。

医療法人 愛

介護老人保健施設

つつじのさと

立花 尚寛 様

(代理 愛甲敏 様)

推薦者 愛甲 碧会員

職 種 リハビリテーション

勤続年数 10年11ヵ月

介護老人保健施設内および施設外の課題・問題点を抽
出し改善案を策定した。



つばめタクシー株式会社

東 次義 様

推薦者 北 昌二郎会員

職 種 タクシー常務員

勤続年数 30年2ヵ月

平成6年の入社以来勤勉で実直、当社一筋に、今も現
役で頑張っている。



[謝 辞]

つばめタクシー株式会社

東 次義 様

受賞の皆様を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げ
ます。この度は歴史と伝統ある人吉ロータリークラ
ブ様より優良職員表彰をいただき、身に余る光栄に存
じます。今後とも安全運転に心がけ、公共交通機関と
して誇りを持ち、精一杯努力いたします。 本日は誠に
ありがとうございました。



【親睦委員会】

4月誕生祝い

渡辺洋文会員 2日

堤 正博会員 15日



【キッチンカー管理運営委員会】

能登支援プロジェクトIn人吉ロータリー

キッチンカー担当委員会

(往路班) 副委員長 中川貴夫

2024年1月1日午後4時10分能登地震が発生いたしまし
た。私達、国際ロータリー第2720地区・熊本第6グルー
プ・人吉ロータリークラブは2016年4月14・16日、熊本

地震が発生した時に全国のロータリークラブ・ロータリアンから多くの寄付金を戴きました。その時の第2720地区前田眞実ガバナーより「熊本地震の復興において、それぞれのクラブでどんな奉仕が出来るか？ 行いたい事を地区にエントリーしてください。」との通達があり、人吉RCで何が奉仕できるか検討いたしました。本田節会員のアイデア！「現地で温かい料理が出来るキッチンカーが欲しい」との事で、目的・予算・行動計画etcを地区に申請しました。予算は、2000万円です。申請が認められ、前田ガバナーより「是非、熊本地震の皆様の力になる奉仕をしてください」との事で連絡を戴きました。それから、キッチンカー中古車を見つけRC看板を書き、キッチンカーの中身を、本田会員が使いやすい様に変更、ゴトクを2個作り、揚げ物をする様にフライヤー、お米を炊くのにガス窯を備え、プロパン5kg2個など備えたりして、改造致しました。熊本の被災地に本田会員を中心に人吉RC会員が日曜日ごとに何十回行ったでしょう！また、大分のクラブより、「全国食育大分大会にキッチンカーを展示・災害時の料理デモをしてほしい。」との事で大分駅前において熊本震災写真を展示し一緒に食事を作りました。また、地区大会にも出動しました。2020年7月4日熊本南部人吉球磨豪雨災害では、また日本各地ロータリークラブ及び熊本県の各ロータリークラブからの支援もあり災害復旧をする傍ら本田会員が中心になり被災した方々にロータリーキッチンカーで何十回も現地向かい温かい料理を提供致しました。

2022年位にある程度落ち着き一段落をした処で、当初戴いた2000万円の予算、報告のすべての領収書を常に残し決算書を葉山会員が作りました。その決算書・報告書は、一つの厚みが10cmにもなりそれが3冊提出、1年に1回、検査して戴いていたのです。約20万円残った所で地区の前田パストガバナー、大森パストガバナーが災害予算管理委員となられ、いったん締めるとの事で返金いたしました。そして現在、キッチンカーの運転資金及び貸し出しから保管まで継続しています。現在、キッチンカーは、熊本に一台、大分に一台あります。

1月の中頃でしょうか？大分キャピタルロータリークラブの井上さんから「能登地震の災害にキッチンカーを出さなくて良いのか？」との問い合わせがありました。私は、「我がクラブの本田会員に、能登の状況を調べて貰い連絡する。」と答え、本田会員に連絡いたしました。本田会員は、「まだ道路も整備されておらず、ベースキャンプも見つからないので、まだ行くには無理がある。」との返事を戴き、その旨を井上会員に伝えました。

そうしているうちに、本田会員から「たっちゃん、私、3月25日（月曜日）から一週間能登のボランティアに行くけん！」と電話が入り能登でどういう行動をするのか？と色々話をしていくうちに、「それなら、ロータリーのキッチンカーで走り回った方が、運転も慣れているし、良いのでは？」と提案いたしました。葉山会員に電話して「プランを考えて貰い、能登の状況と交通網を調べて下さい。」とお願ひし、当然、人吉RCクラブ北 昌二郎会長に報告を

して行動始めました。予算については、私が人吉RC担当でボランティアの計画を、地区の前田パストガバナーに連絡を致しました。前田パストガバナーは、「能登にキッチンカー持って行ってボランティアをするなら、予算を計上してみてください。」と言われたので、早速に目的、行動計画、予算を前田パストに提出いたしました。（534,600円）前田パストガバナーより大森パストガバナーに連絡が行き、膳所ガバナーの承認を戴いてもらいました。この予算は、地区の予算と別に災害予算管理委員会として前田パストガバナー、大森パストガバナー、そしてその年度のガバナーが管理されているようです。そして、人吉RCの理事会に審議事項として上程し、計画・行動・予算を発表し、また、理事の皆様から色々な意見を戴き、承認を戴きました。

北会長より、「3月25日（月曜日）8:00出発式を市役所にて行いますので」と言う事で会員の皆様に見送られ出発致しました。

【約1200 k m（人吉8:00出発～石川県能登町0:45着）（高速道路約17時間）走行】

能登被災地支援計画には人吉ロータリークラブより、能登までの1班（行き運搬委員＝中川・渡辺）～2班（帰りの運搬委員＝葉山・石蔵）を計画表に入れました。また、本田会員が25日から30日までの被災地支援材料代も計上致しました。

行動計画では葉山会員が「能登から帰るのには能登里山空港から東京便は、火・木・土しか現在フライトが行われていない事。被災地能登町（ベースキャンプ）から里山空港までの足がない事。能登町には乗り捨てレンタカー無しなど！」事細かく調べて戴きました。

私達1班は、朝8:00人吉出発・次の日の26日0:45、雨風の中、OPEN JAPANがベースキャンプを張る能登広域勤労青少年ホーム到着、先に飛行機で到着済みの本田会員の出迎えを受け、今日（朝7:00から）の打ち合わせを行い就寝致しました。朝7:00起床、キッチンカーから、お米2kg×200袋（400kg）などキッチン道具を下ろしていましたので26日に使うキッチン道具、材料、配るお米を積み込み能登公民館に向かいしました。9:30過ぎに雨風の中公民館に到着、本田会員のボランティア（オープン・ジャパン）の人達、熊本から本田会員と一緒に来られた西原村の仮設住宅でお世話になった吉村さんたちと一緒に食事の仕込みを致しました。公民館の周りの住宅はひどく潰れていて大変な状況でした。11:00には準備が出来、公民館の事務局員さんにボランティアに来ている旨の放送をして戴きました。公民館職員の人からは、「ここでボランティアをして戴きありがたいです。何故なら、お年寄りや遠くの配給場所には行けないのです。」と言って戴き多くの被災された方々が集まって頂き、本田会員が得意の口調で「温かい、つぼんしゅ と、炊き込みご飯ですよ。」と！銘口調!!大変喜んで頂きました





た。それから、先ほど話しました、お米2kgをそれぞれにお渡しいたしました。また、能都ロータリークラブ三宅会長・公共イメージ向上委員会池岸委員長さんが公民館に来ていただきましたのでお悔みを申し上げ、会員さんが約30名と言う事で「お米を20袋 被災された会員にお配り下さい。」とお渡し、私達は12:00公民館からボランティアの方に約30分の道のりを能登里山空港まで送って頂き羽田空港への帰路につきました。

羽田空港では1時間半の乗り継ぎで、一緒に行ってくれた渡辺パスト会長と話しましたが彼曰く「能登に来て海を見て釣りもせず、東京で飛行場から街に出ず、帰るとは！トホホ」などと冗談を言っていました。羽田から熊本空港に降り立ち、24日に駐車場に車を預けておいた乗用車に乗って帰って来ました。「乗用車は快適ねえ」と話しました。17時間走ったのですが、25日（月曜日）朝8:00出発して26日（火曜日）夜10:00には我が家におりましたので、妻に「本当に能登に行ったのかなあ〜」と話した次第です。

最後に、出発に際しお見送りを戴いた会員の皆様、ドリンクなど差し入れを戴いた皆様ありがとうございました。また、「気を付けて、頑張っておいで・栄養の付くものでも食べてね!」と言って、お饞別まで戴きありがとうございました。今お話しした様に、弾丸走行でしたので、お饞別を使う時間も場所もなかったもので、行ったメンバーと相談しまして、お饞別はそれぞれ本人様の名前でロータリー財団に寄付をさせて頂きました。「温かいお気持ちは確かに戴きました。」本当にありがとうございました。以上、キッチンカー搬入隊の報告です。

キッチンカー担当委員会
(復路班) 委員 葉山稔洋

復路の話は、珍道中の連続でとても与えられた時間内に話せる内容ではないので、人吉新聞に連載して頂く事として、私はキッチンカー委員会の事務方としての話をさせて頂きます。

節さんの3月25日から「1週間能登に行ってくるね」の一言から始まった。今回のボランティア 誰か同行せんといかんけどと中川さんと検討すれど1週間の休みは取れない。じゃあどうしようと考えたあげく、キッチンカーを持っていくA班と取りに行くB班二班を結成するとの結論に至り、人選を始め、現地の道路状況や様々な手配等を進めて、2月20日には航空券の手配を済ませました。地震の影響で現場に1番近い能登空港は火・木・土の週に3日、1日に1往復しか飛んでないのと現場から能登空港に送って貰う人を見つけるに苦労いたしました。幸いにも人吉水害の時にお世話になったボランティアグループつながりと言う人たちと連絡が取れ、その関係の方に先発隊を能登空港に送迎をお願いすることが出来ました。また、石川県の同業者と連絡を取り、道の状況や物資の不足、必要なも



のなどの聞き取りをし、被災者に届ける物資の準備を始めました。3月の終わりとは言え、雨が降ると山沿いでは雪が降るとの情報も頂き、九州との温度差も感じ、体を温めるココアやコーヒーやタオル等の支援を募り1メートル角の段ボールに7箱位準備を整えました。忘れてはならない、人吉の米2K入りを200袋計400Kと様々な物資を積み込み往路は、25日月曜日8時の出発式を終え約1200キロ15時間位の道中となります。復路は、750Kの自走と快適な船旅を体験させて頂きました。関係や全員無事に人吉に帰ってくることが出来ました。皆さんのご協力に感謝します。

能登半島地震 被災地支援

キッチンカー担当委員会
委員長 本田 節

～今回のボランティア活動のテーマ～

- 1、熊本地震や球磨川豪雨災害を通して経験した学びを活かしたい。
- 2、被災者であっても支援者にもなり得る。
- 3、これまでの一方的な炊き出しとは違って“一緒に作る”という自立型の炊き出しに取り組む。
- 4、断水が続く被災地での命を繋ぐ食の大切さを伝え、防災食の実習で地域住民の新しい取り組みのきっかけとする。
- 5、被災経験があるからこそ耳を傾けられる交流をしたい
- 6、生活再建の為に地域の助け合いが不可欠であることも伝えたい。

令和6年3月24日（日）

出発前日

地元の仲間と郷土料理つぼん汁炊き出し準備（200食）

令和6年3月25日（月）

石川県能登に向かって出発

益城町のボランティアの仲間たちと合流



能登町にあるベースキャンプ（能都広域勤労青少年ホーム）に到着

（一社）OPEN JAPAN災害支援チーム（球磨川豪雨災害の時 球磨村神瀬において2年近く支援し続けた団体）と連携スタート 到着直後、全国から集まったボラン



ティア仲間の夕食づくり

3月26日（火）初日

深夜12時45分 17時間をかけ、中川・渡辺会員 無事ベースキャンプ到着。少しばかりの休憩をした後寝袋にて就寝

能登町役場鶴川支所にて炊き出し初日

能登町役場鶴川周辺の被災状況



能都R C会長も炊き出し会場へ駆けつけてくださった
能都ロータリークラブの会長へ会員への被災お見舞い
としてお米を進呈
会員8割程度が被災
初日は準備してきた“つば
ん汁”“炊き立てご飯”
“野菜のかき揚げ”他



3月27日（水）昼

公立宇出津総合病院にて炊き出し
被災し3ヶ月を超えても避難所から通い医療に従事し
ている医師・看護師 心身ともに疲れが極限に達した
スタッフへ野菜不足を解消するための野菜サラダと
シーフードカレー（150食準備）
被災した多くの患者が入院中の公立宇出津総合病院
益城町の吉村さんたちも精力的に活動



3月27日（水）夜

連地区：能登の中山間地域へ 発災時一時孤立した集
落 自立型炊き出し “一緒にやる” 夕食づくり “炊
きこみ鶏めし” “具だくさんの団子汁（つみれ）” カ
セットコンロ・ホットプレート使用し防災食の実習
土手に自生するふきのとうで 一緒に天ぷらづくり
（被災者とのホッとする交流）



3月28日（木）昼

輪島市 自主避難所での自立型炊き出し

奥能登の寒い冬から当日は、たまたまお天気が良かったので 近くにある公園に集まっていたいただき一緒に炊き出し準備

発災前の賑わっていた輪島市朝市通り



焼野原となった輪島の朝市通り



3月28日（木）昼

輪島市の小さな集落で自主避難している皆さんと近くの公園にて

集落の皆さんが持ち寄った被災を免れた野菜も大いに助かった。野菜たっぷりのかき揚げは、揚げたてで大変おいしかった。カセットコンロで作るパスタは大好評。手伝ってくださった被災者の皆さんとロータリーキッチンカーの前で「がんばろう能登！」でポーズ



3月28日（木）夜

輪島市の被災者を受け入れている福祉施設への炊き出し（夕方）“メンチカツ”と“野菜たっぷりカレー”

3月29日（金）昼

珠洲市 いちごハウスを使った自主避難所での“一緒にやる”ランチ作り

珠洲市のいちごハウスでの 自主避難所でのコミュニティと食づくり 3棟のイチゴハウスは地域住民の総力で自主運営



被災したお母さんたちと一緒につみれ団子汁づくり 出来立てのつみれ汁と山菜おこわを来れない高齢者に配食する住民被災者“被災者であっても支援者にもなる”

3月29日（金）夜

春蘭の里（農家民宿） 宮地交流宿泊所こぶし（廃校利

活用) (40軒以上の農家民宿があり、世界農業遺産にも認定された全国でも有名なグリーンツーリズムの先進地)

交流宿泊所こぶしに到着。早速廊下に山積みになっている支援物資を使いながら被災した皆さんへの防災食の実習。夕方には被災者の皆さんが集まり楽しい夕食交流会、岩手県遠野市のグリーンツーリズムの仲間から送ってもらったりんごをプレゼント

(遠野市：東日本大震災で被災をした)



夜の炊き出し後に夜なべをして全国から送ってもらった支援物資を仕分け作業



大阪の大学生が手伝ってくれた(豊岡総合高校インターアクトクラブの生徒さんたちが送ってくれたメッセージ付きのホッカイロ)



3月30日(土) 昼

能登町第一号の鶴川仮設団地へ 人吉のお米や仕分けした支援物資配布とランチづくり

仮設団地の自治会の皆様とともに全戸に人吉のロータリー米を配布 大変喜ばれました。

“山菜の炊き込みご飯”と“かしわごぼううどん”と“漬物”200食のうどん麺を湯がくの汗だく

3月30日 夜

さまざまなトラブルを乗り越え小松からレンタカーで葉山会員と石蔵会員が夜21:30にベースキャンプに到着。その日の夜の炊き出しの牛丼を食べ休息する暇もなくキッチンカーで人吉を目指した!! 暗闇の中 葉山会員はキッチンカーに乗り込んだ

3月31日(日) 早朝

ベースキャンプで最後の朝礼をし、今回のボランティア活動に協力いただいた拠点を運営するOPEN JAPANの皆さんや全国から集まったボランティアのみなさんに感謝の言葉を述べ、帰路につく

お天気のいい日は8時からラジオ体操と朝礼
スムーズにボランティア活動をやる為には、徹底したほう・れん・そう(報告・連絡・相談)が大事だということを改めて学び直した。

～能登半島地震における 命のキッチンカーによる ボランティア活動のまとめ～

被災地の現状と課題

- 1、能登半島という地理的悪条件
- 2、正月元旦という北陸の厳しい寒さでの災害
- 3、津波・大火災・地震という複合災害
- 4、3ヶ月過ぎてもインフラの復旧の遅れ(特に断水)
- 5、ボランティアの宿泊場所の確保不能
- 6、被災者の二次避難が多い(金沢、七尾、小松など)
- 7、高齢化・過疎化による孤立する集落が多い

など

課題解決の為には・・・

- ・もっとたくさんのボランティアが必要
- ・早期にインフラ整備を進めてほしい(行政)
- ・常に自分事としてとらえ、防災・減災に対する意識を強化(風化してはならない)
- ・現場の声をもっと発信すべき(情報発信不足)
- ・いまだかつて道路渋滞、水が出ないのでボランティアは来ないでほしい、という風潮がある
- ・これから本格的な復旧・復興に向けてスタートするので全国の多くのロータリアンのみなさんにもご支援をいただきたい

最後に

今回のボランティア活動は当初私個人としての思いからスタートしましたが、これまで熊本地震から球磨川豪雨災害まで7年間続いてきた人吉ロータリークラブのキッチンカー運営委員会の中川会員、葉山会員、現在の北会長、キッチンカーを運んでもらった渡辺会員や石蔵会員、全てのロータリークラブの会員のご支援無くしては十分な活動が出来なかったと思います。皆様の友情と社会奉仕に心から感謝を申し上げ、報告と致します。

＜寄付の申し出＞

本田 節会員より「ロータリーの友情と社会奉仕に感謝して」として、R財団、米山記念奨学会、人吉RC奨学基金委員会へご寄付がありました。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

・**北会長** 優良職員表彰を皆さんでお祝い頂きましてありがとうございました。独身30才で入社した東君、苦楽を共にし30年も我社のために頑張ってくれたと思うとお言葉に詰まってしまいました。また能登ボランティア発表ありがとうございました。

・**延岡会員** 本田さん中川さん渡辺さん葉山さん石蔵さん、本当にお疲れ様でした。被災者のひと時の安らぎになったことでしょう。

・**井手会員** 能登半島地震復興支援に関わった全ての会員の皆様に感謝申し上げます。

・**葉山会員** 復興支援に思いを馳せる方は連絡下さい。金沢漁港から蟹を始め海産物を取り寄せます。「人吉ロータリークラブ海鮮部」(北会長銘名)の葉山まで

・**愛甲会員** この度は当法人職員に対し、このような賞をいただき心より感謝申し上げます。今後もこれを励みに、より一層努力してまいります。能登半島支援に行っていた皆様、本当にお疲れ様でした。

・**堤会員** 本日は誕生祝いをしていただき感謝します。1942年4月15日生まれです。ありがとうございました。

〈R財団委員会〉

・**中川会員** 能登出発式では、お見送り並びに差し入れありがとうございました。この奉仕が無事に終わった事への感謝です。

点 鐘 北 昌二郎 会長